

単元構想のポイント

<p>〈実践テーマ〉 自己選択・自己決定の場を広げ、自分の思いを生かした幅広い造形表現ができる授業</p>			
単元名 (題材)	第6学年 よろこびを形に (8時間)	実施 時期	10月

- 題材開発
 - 心が弾む、夢中になる題材の開発
 - 思いが広がる題材名の設定
- 幅広い造形表現
 - 自己選択・自己決定のできる場の設定
 - 表現内容、表現分野、表現方法、材料、用具 等
- 造形環境
 - 材料プールの活用
 - 発表展示の場の工夫
- 評価支援
 - 個に寄り添った共感的支援の工夫
 - 交流の場の設定
 - 相互評価の方法

1 実践の構想

〔単元の目標〕

- 自分らしい思いをもち、楽しみながら創造的に表現しようとする。(造形への関心・意欲・態度)
- 感じたことや考えたことをもとに想像力を働かせ、自分らしい発想や構想をする。

(発想や構想の能力)

- 表したい感じが表れるよう、造形感覚や創造的な技能を働かせて表現する。(創造的な技能)
- 表現の過程や作品を通して、自他の表現のよさを感じ取ったり、味わったりする。(鑑賞の能力)

〔題材の展開〕

《題材開発》

子供たちの身近にあることをテーマにしながら、幅広い造形表現が可能になるような題材名の工夫をする。

学習活動・内容	留意点
<p>題材との出会いから自分が表したいことを考え、それに合わせて材料を集める。(30分)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材と出会う。 ○ 「よろこび」のイメージを広げる。 ○ 自分らしい発想で表したいことを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ● どのような「よろこび」か ● 材料や表現方法など ○ 自分の表したいことに合わせて材料を探し集める。(時間外) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「よろこび」のイメージを広げさせる。 ● 自分の思いを大切に好きな材料や方法で表現することを伝える。 ● 材料を集めるための時間を十分確保する。 ● 材料プールの活用
<p>自分の思いがよりよく表れるよう、表現方法や材料の生かし方などを考えながら、創造的に表現する。(195分)</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分のイメージをもとに表現する。 <ul style="list-style-type: none"> ● 表現方法、材料の生かし方などを考 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが必要に応じて準備した用具に加え、教師も材料から、